

(独立行政法人教員研修センター委嘱事業)

教員研修モデルカリキュラム開発プログラム

報 告 書

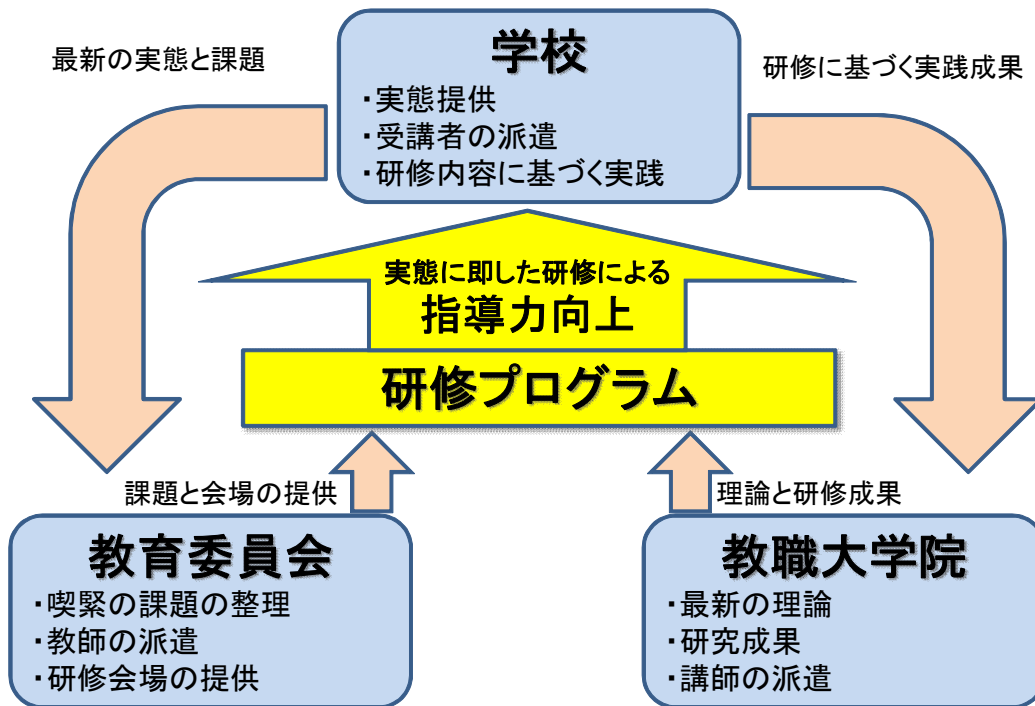
プログラム名	教育委員会と教職大学院の連携による学校課題解決のための「即応力」向上研修プログラム
プログラムの特徴	<p>本プログラムは、これまでに新潟県教育委員会（新潟県立教育センターを含む。以下同じ。）と上越教育大学大学院教育実践高度化専攻（以下「教職大学院」という。）がそれぞれに行ってきた研修を連携して実施するものである。新潟県教育委員会が把握する学校現場の実態に基づき、新潟県教育委員会と教職大学院教員が連携して研修を企画運営する。新潟県教育委員会指導主事の有する指導のポイントと教職大学院教員の持つ理論、教職大学院院生（現職院生と学部卒院生による。以下同じ。）チームによる最新の実践成果を統合的に研修することにより、初任者レベルの教員から中堅教員、ベテラン教員まで幅広い教員にとって、学校現場にすぐに効果的な力（「即応力」）を身に付けることのできる研修を実現する。</p> <p>また、研修の成果と課題を新潟県教育委員会と教職大学院と共有し、それによって、新潟県教育委員会の研修体制を強化するほか、教職大学院は、最新の实態に合わせたカリキュラム改善に役立てていく。さらに、研修の内容を紹介するDVDやテキスト等を新潟県内の学校現場に配布することにより、その研修成果を広く学校現場に普及する。</p>

平成25年3月

上越教育大学 ・ 新潟県教育委員会

本プログラムの全体概要

教育委員会と教職大学院の連携による研修プログラム



1. 背景・趣旨・目的

今日の学校では、複雑な教育事象を分析的、理論的に捉え、刻々と変わる状況を即時に判断し、適切に対応していく力「即応力」が必要である。しかし、多忙化が叫ばれる学校現場は、最新の教育理論に触れる機会や、自らの実践を分析的に振り返る機会を確保することが難しい。

新潟県教育委員会では、これまでに教職員の指導力向上を図るため、自主的・自発的な研修希望に応え、研修の機会及び情報を提供し、助言を行うなど、その研修活動を支援している。一方、教職大学院では、一昨年度より新潟県教育委員会の後援を得て教育研修講座を開設し、学校現場にすぐに効果的な力（「即応力」）を磨く学校支援プロジェクトの成果を報告している。またその際、新潟県教育委員会から指導主事等のゲスト講師を招聘する等、連携して行っており、これまでに下越地区（新潟市）、中越地区（十日町市）で行った23回の講座では延べ573人の参加があり、好評を得ている。

こうした研修成果をさらに高めるため、学校現場の詳細な実態を把握する新潟県教育委員会とさらに連携を深め、地域のニーズに密着した研修プログラムを開発することを目的とする。

2. 開発の方法

(1) 新潟県教育委員会より、新潟県における教育の重点課題に関する情報提供を受けた。

重点課題は以下の通りである。（3月6日）

- 1 地域とともに歩む特色ある学校づくり
- 2 全校体制で取り組む学力の向上
- 3 豊かな人間性と社会性を育む教育の推進
- 4 全校体制で取り組む特別支援教育の充実について
- 5 人権教育、同和教育の充実
- 6 キャリア教育の推進
- 7 環境教育の充実
- 8 児童生徒の安心安全と心のケア

(2) 研修日程・テーマ（案）と大学教員の講師決定

専攻会議を開催し、上記の重点課題と大学教員の専門性を基に研修テーマ（案）と大学教員の講師を決定した。（3月14日）

(3) 教育委員会の講師と会場の決定と研修会案内の作成

研修日程・テーマとそれぞれの研修を担当する大学教員を新潟県教育委員会へ伝達し、教育委員会の講師と研修会場を決定した。（3月末）

決定した内容は以下のとおりである。

<新潟講座>会場：新潟県立生涯学習推進センター大研修室

6月9日	13:10～14:10	県立教育センター 指導主事 鈴木 正彦	教育相談的視点を生かした学級づくり ～子どもの困り感に寄り添い、リソースを生かした支援を通して～
	14:20～15:20	赤坂真二 准教授	子どものつながる力を育てる学級づくり
	15:30～16:30	赤坂研究室院生	教職大学院での学びから見てきたこと
6月16日	13:10～14:10	長岡市立西谷小学校 校長 桑原 哲朗	豊かな人間性と社会性を育む国語科教育
	14:20～15:20	木村吉彦 教授	豊かな人間性と社会性を育む生活科教育
	15:30～16:30	木村研究室院生	豊かな人間性と社会性を育む生活科実践 ～平成23年度学校支援プロジェクトより～
6月23日	13:10～14:10	県立教育センター 指導主事 浅野 秀之	全校体制で取り組む学力向上 ～Web配信問題を活用した授業改善～
	14:20～15:20	水落芳明 准教授	全校体制で取り組む学力の向上 ～We(みんな)でつくる校内研修～
	15:30～16:30	水落研究室院生	学校支援プロジェクトや教職大学院で学んでいること
7月7日	13:10～14:10	県立教育センター 副参事・指導主事 長谷川 等	言語活動の充実について
	14:20～15:20	武嶋俊行 教授	言語活動の充実について
	15:30～16:30	武嶋研究室院生	言語活動の充実を目指した実践の事例報告

<中越講座>会場：長岡市立中央図書館

6月2日	13:10～14:10	県立教育センター 指導主事 山本浩昭	算数授業活性化のポイント
	14:20～15:20	松沢要一 教授	全校体制で取り組む学力の向上 ～算数・数学～
	15:30～16:30	松沢研究室院生	学校支援プロジェクトや教職大学院で学んでいること
6月9日	13:10～14:10	県立教育センター 指導主事 鈴木華奈子	教科の壁を越えて取り組む学力の向上 ～小・中の授業改善から～
	14:20～15:20	久保田善彦 教授	活用型の授業デザインと自己学習力
	15:30～16:30	久保田研究室院生	教職大学院での学びから見てきたこと
6月16日	13:10～14:10	県立教育センター 指導主事 丸山 辰志	学校生活における、ちょっとした生徒指導的配慮
	14:20～15:20	早川裕隆 准教授	豊かな人間性と社会性の育成を目指す道徳教育 ～心に響く「道徳の時間の創造を中心に～
	15:30～16:30	早川研究室院生	学校課題を踏まえた道徳の授業研究 ～人間関係を形成する力にはたらきかける道徳の時間の実践を通して～
6月23日	13:10～14:10	県立教育センター 指導主事 泉田 雅彦	全校体制で取り組む学力向上 ～Web配信問題を活用した授業改善～
	14:20～15:20	松本 修 教授	言語活動を中核とした授業づくり
	15:30～16:30	松本研究室院生	言語活動に焦点化した授業研究

<上越講座>会場：上越教育大学教職大学院棟 1F 多目的演習室

6月9日	13:10～14:10	県立教育センター 副参事・指導主事 井部 剛	高等学校特別支援教育プロジェクトを実施して ～平成20年度コーディネーターの指名から、平成23年度中高の連携まで～
	14:20～15:20	加藤哲則 准教授	特別支援教育の充実と今後の動向
	15:30～16:30	加藤研究室院生	インクルーシブな教育への移行に向けた特別支援教育の取組
6月16日	13:10～14:10	上越教育事務所 指導主事 奈良岡 裕先生	教科指導と生徒指導の課題
	14:20～15:20	西川 純 教授	異学年『学び合い』の効果
	15:30～16:30	西川研究室院生	全校体制に基づく教科指導と生徒指導の融合 ～小規模校の事例を中心として～
6月23日	13:10～14:10	県立教育センター 次長 金子満雄	全校体制で取り組む学力向上 ～Web配信問題を活用した授業改善～
	14:20～15:20	松井千鶴子 准教授	「習得・活用・探究」をふまえた学習活動でめざす学力の向上
	15:30～16:30	松井研究室院生	生活科・総合的な学習の時間を中核としたカリキュラムの創造への支援
7月7日	13:10～14:10	県立教育センター 指導主事 山本浩昭	算数授業活性化のポイント
	14:20～15:20	岩崎 浩 教授	授業研究を中核とした算数・数学の学力向上の取組 ～その自立的活動を助けるための視点～
	15:30～16:30	岩崎研究室院生	「学校支援プロジェクト」における取組とそこから見えてきたこと

作成した研修会案内は次のとおりである。

新潟講座案内（表）

新潟講座案内（裏）

2012 教育委員会と教職大学院連携による **教育研修講座 新潟講座** 参加費無料

2009年にスタートした新潟サテライト講座がリニューアルして生まれ変わりました。新潟県教育委員会と連携して、より新潟県の実態に即した講座を精選し、皆様のご参加をお待ちしています。

会場 新潟県立生涯学習推進センター 大研修室 新潟市中央区女池南3-1-2

日程 6月～7月の土曜日に開催
13:10～16:30
※詳しくは裏面をご覧ください。

対象 保育所や幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等に勤務する教職員や教員を志す学生、教育に関心のある方など

申込方法 当日参加も可能ですが、準備の都合上、事前にお申し込みいただければ幸いです。上越教育大学研究連携室にFAXかE-mailで、お申し込みください。
FAX: 025-521-3621 E-mail: chiki@juen.ac.jp
※E-mailの場合は、氏名を「新潟講座申込」とし、氏名、所属、参加希望講座を必ずお知らせください。

問い合わせ ご不明な点等ありましたら、E-mailでお問い合わせください。
E-mail: mizuochi@juen.ac.jp
(上越教育大学大学院学校教育研究科 准教授 水落秀明)

参加申込書 2012 教育委員会と教職大学院連携による **教育研修講座 新潟講座**
FAX: 025-521-3621 (上越教育大学研究連携室) E-mail: chiki@juen.ac.jp

氏名 _____

所属 _____

ご希望講座のみのお参加も可能です。参加希望講座を○で囲んでください。
第1回 第2回 第3回 第4回

2012 教育委員会と教職大学院連携による **教育研修講座 新潟講座日程**

この表の講座のみのお参加も可能です。

開催日	担当	内容
第1回講座 6月9日(土)	13:10～14:10 新潟県立教育センター 鈴木正彦 指導主事	教育相対的視点を生かした学級づくり ～子どもの困り部に寄り添い、 リソースを生かした支援を通して～
	14:20～16:30 赤坂 義二 准教授 赤坂研究室院生	子どものつながる力を育てる学級づくり 教職大学院での学びから見えてきたこと
第2回講座 6月16日(土)	13:10～14:10 新潟県立生涯学習センター 浅原哲朗 准教授(特別)	豊かな人間性と社会性を育む国語科教育
	14:20～16:30 木村 吉彦 准教授 木村研究室院生	豊かな人間性と社会性を育む生活科教育 豊かな人間性と社会性を育む生活科実践 ～平成23年度学校支援プロジェクトより～
第3回講座 6月23日(土)	13:10～14:10 新潟県立教育センター 水落秀明 指導主事	全校体制で取り組む学力向上 ～Web配信問題を活用した授業改善～
	14:20～16:30 水落秀明 准教授 水落研究室院生	全校体制で取り組む学力の向上 ～We(みんな)でつくる校内研修～ 学校支援プロジェクトや教職大学院で学んでいること
第4回講座 7月7日(土)	13:10～14:10 新潟県立教育センター 長谷川 尊 指導主事	言語活動の充実について
	14:20～16:30 武嶋 俊行 准教授 武嶋研究室院生	言語活動の充実について 言語活動の充実を目指した実践の事例報告

中越講座案内 (表)

2012 教育委員会と教職大学院連携による **参加費無料**
教育研修講座 中越講座

2010年スタートの中越講座が10年を節目に生まれ変わりました。新潟県教育委員会と連携して、より新潟県の実態に即した講座を開講します。皆様のご参加をお待ちしております。

会場 新潟県長岡市立中央図書館
 新潟県長岡市学校1-2-2

日程 6月の土曜日に開催
 13:10~16:30
 ※詳しくは表面をご覧ください。

対象 保育所や幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等に勤務する教職員や教員を志す学生、教育に関心のある方など

申込方法 当日参加も可能ですが、準備の都合上、事前にお申し込みいただければ幸いです。上越教育大学研究連携室にFAXかE-mailで、お申し込みください。
 FAX: 025-521-3621 E-mail: chiki@juen.ac.jp
 ※E-mailの場合は、件名を「中越講座申込」とし、氏名、所属、参加希望講座をお知らせください。

お問い合わせ ご不明な点等ありましたら、E-mailでお問い合わせください。
 E-mail: matuzawa@juen.ac.jp
 (上越教育大学大学院学校教育研究科 教授 松沢一)

参加申込書 2012 教育委員会と教職大学院連携による 教育研修講座 中越講座
 FAX: 025-521-3621 (上越教育大学研究連携室) E-mail: chiki@juen.ac.jp

氏名 _____
 所属 _____
 ご希望の講座のみの参加も可能です。参加希望講座を○で囲んでください。
 第1回 第2回 第3回 第4回

中越講座案内 (裏)

2012 教育委員会と教職大学院連携による **参加費無料**
教育研修講座 中越講座日程

ご希望の講座のみの参加も可能です。

回次	担当	内容
第1回講座 6月2日(土)	13:10~14:10 新潟県立教育センター 山本浩昭 講師 講師 山本浩昭	算数授業活性化のポイント
	14:20~16:30 松沢 豊 教授 松沢研究室生	全校体制で取り組む学力の向上 ~算数・数学~ 学校支援プロジェクトや教職大学院で学んでいること
第2回講座 6月9日(土)	13:10~14:10 新潟県立教育センター 鈴木 華奈子 講師 鈴木 華奈子	教科の壁を越えて取り組む学力の向上 ~小・中の授業改善から~
	14:20~16:30 久保田 善彦 教授 久保田研究室生	活用型の授業デザインと自己学習力 教職大学院での学びから見えてきたこと
第3回講座 6月16日(土)	13:10~14:10 新潟県立教育センター 丸山 辰志 講師 丸山 辰志	学校生活における、ちょっとした生徒指導的配慮
	14:20~16:30 早川 裕隆 教授 早川研究室生	豊かな人間性と社会性の育成を目指す道徳教育 ~心に響く「道徳の時間」の創造を中心に~ 学校課題を踏まえた道徳の授業研究 ~人間関係を形成する力にほたらきかける 道徳の時間の実践を通して~
第4回講座 6月23日(土)	13:10~14:10 新潟県立教育センター 泉田 雅彦 講師 泉田 雅彦	全校体制で取り組む学力向上 ~Web配信問題を活用した授業改善~
	14:20~16:30 松本 修 教授 松本研究室生	言語活動を中核とした授業づくり 言語活動に焦点化した授業研究

上越講座案内 (表)

2012 教育委員会と教職大学院連携による **参加費無料**
教育研修講座 上越講座

今年度より教育委員会に格上げした専門職大学院「教職大学院」の特別講座を上越教育大学で開講します。新潟県教育委員会と連携した新潟県の実態に即した講座内容となっています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会場 上越教育大学教職大学院棟
 [1F 多目的演習室]
 新潟県上越市山屋敷町1番地

日程 6月~7月の土曜日に開催
 13:10~16:30
 ※詳しくは表面をご覧ください。

対象 保育所や幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等に勤務する教職員や教員を志す学生、教育に関心のある方など

申込方法 当日参加も可能ですが、準備の都合上、事前にお申し込みいただければ幸いです。上越教育大学研究連携室にFAXかE-mailで、お申し込みください。
 FAX: 025-521-3621 E-mail: chiki@juen.ac.jp
 ※E-mailの場合は、件名を「上越講座申込」とし、氏名、所属、参加希望講座をお知らせください。

お問い合わせ ご不明な点等ありましたら、E-mailでお問い合わせください。
 E-mail: skimori@juen.ac.jp
 (上越教育大学大学院学校教育研究科 准教授 加藤哲朗)

参加申込書 2012 教育委員会と教職大学院連携による 教育研修講座 上越講座
 FAX: 025-521-3621 (上越教育大学研究連携室) E-mail: chiki@juen.ac.jp

氏名 _____
 所属 _____
 ご希望の講座のみの参加も可能です。参加希望講座を○で囲んでください。
 第1回 第2回 第3回 第4回

上越講座案内 (裏)

2012 教育委員会と教職大学院連携による **参加費無料**
教育研修講座 上越講座日程

ご希望の講座のみの参加も可能です。

回次	担当	内容
第1回講座 6月9日(土)	13:10~14:10 新潟県立教育センター 井部 剛 講師 井部 剛	高等学校特別支援教育プロジェクトを実施して ~平成20年度コーディネーターの指名から、 平成23年度中高の連携まで~
	14:20~16:30 加藤 哲朗 教授 加藤研究室生	特別支援教育の発表と今後の動向 インクルーシブな教育への移行に向けた 特別支援教育の取組
第2回講座 6月16日(土)	13:10~14:10 新潟県立教育センター 奈良岡 裕 講師 奈良岡 裕	教科指導と生徒指導の課題
	14:20~16:30 西川 純 教授 西川研究室生	異学年「学び合い」の効果 全校体制に基づく教科指導と生徒指導の融合 ~小規模校の事例を中心として~
第3回講座 6月23日(土)	13:10~14:10 新潟県立教育センター 金子 満雄 講師 金子 満雄	全校体制で取り組む学力向上 ~Web配信問題を活用した授業改善~
	14:20~16:30 松井 千鶴子 准教授 松井研究室生	「習得・活用・探究」をふまえた 学習活動でめざます学力の向上 生活科・総合的な学習の時間を中核とした カリキュラムの創造への支援
第4回講座 7月7日(土)	13:10~14:10 新潟県立教育センター 山本浩昭 講師 山本浩昭	算数授業活性化のポイント
	14:20~16:30 岩崎 浩 教授 岩崎研究室生	授業研究を中核とした算数・数学の学力向上の取組 ~その自発的活動を助けるための視点~ 「学校支援プロジェクト」における取組と そこから見えてきたこと

(4) 研修会参加者の集約

研修会案内を新潟県内の小学校、中学校、高等学校に郵送で配布するとともに、新潟県立教育センター玄関に案内コーナーを設置し、他の研修会等で紹介していただいた。

研修会に参加を希望する場合は、FAX または、メールで上越教育大学研究連携室宛に所属と氏名、メールアドレス、参加を希望する研修会名を連絡することとした。

研究連携室では、参加を受け付けた受講者に、受付が完了したことをメールで返信したほか、それぞれの研修会を担当する大学教員（新潟講座：水落准教授、中越講座：松沢教授、上越講座：加藤准教授）に連絡し、教員が参加者一覧を作成し、講座を担当する講師陣に、参加人数を連絡した。

その結果、各研修会には以下の参加者があった。新潟講座 114名、中越講座 74名、上越講座 67名、合計 255名の参加者を得た。

(5) 研修会のビデオ撮影

本プログラムでは、研修会の様子を撮影し、教員研修用DVDとしてまとめ、新潟県内はもちろん、全国の教育委員会にDVDを発送し、研修効果を広く普及させること目的としているため、研修会当日の様子をビデオで撮影することとした。

撮影は、ビデオ編集業者よりレクチャーを受けた学生アルバイト学生が行った。また、ビデオ撮影にあたっては、研修会開始時に、撮影の目的、カメラの位置、撮影される範囲等を参加者全員に伝え、希望者は撮影されない座席へ移動して研修することができる旨を連絡した。

撮影したビデオファイルは、各講師が確認し、肖像権の問題等がないか確認した後、必要に応じて、モザイク処理等の指示を記載したビデオ編集指示書とともに、DVD編集業者へ渡し、DVD作成を委託した。なお、講座でプレゼンテーションソフト等を用いた場合には、そのファイルもDVD編集業者へ渡し、ビデオ映像とプレゼンテーションの画面を分かりやすく編集してまとめたDVDを作成することとした。

以下は、研修会当日に参加者に配付したビデオ撮影のお願いに関する文書の文面である。

ビデオ撮影のお願い

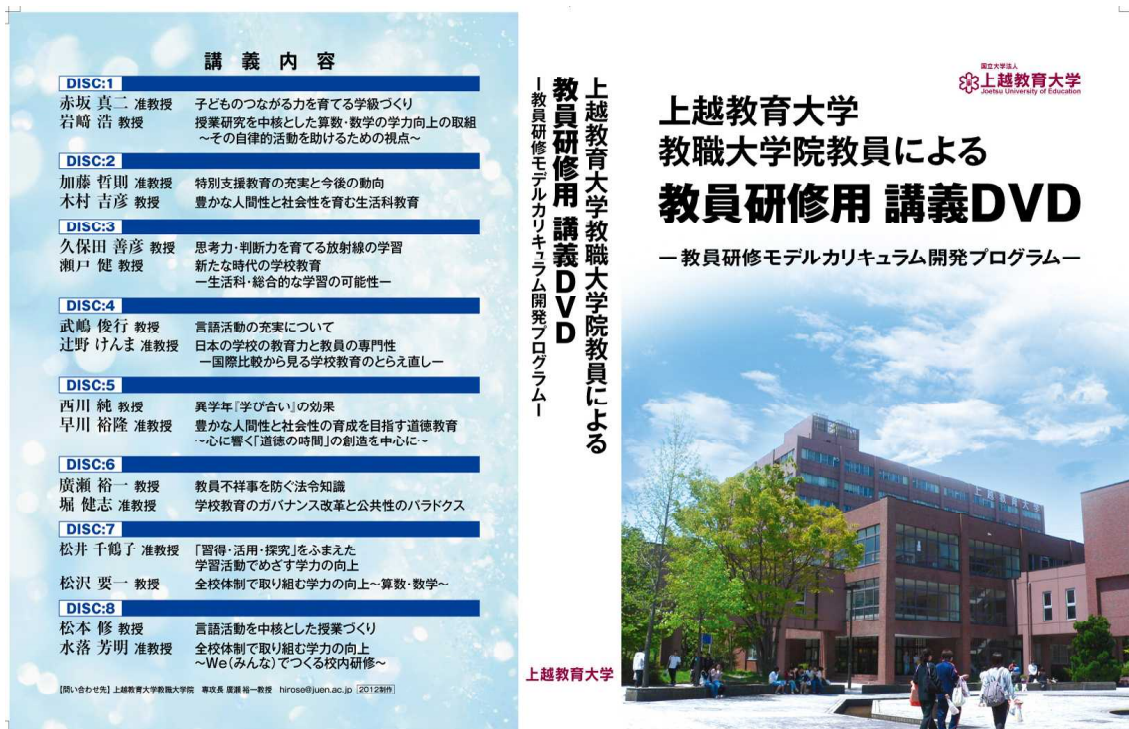
本講座はカリキュラム開発のためにビデオ撮影させていただきますが、ビデオ撮影は講義の内容がわかるよう講師を中心に撮影するもので、会場の皆様につきましては個人を特定できないよう配慮いたします。どうぞご協力のほどをお願いいたします。撮影したビデオは、DVD教材として大学や研修センターで活用させていただく場合があるほか、大学院HPの「講師紹介」用として映像の一部を活用させていただくことがあります。

なお、部屋の都合上などから背面が映ってしまう場合がございますので、もし気になるという方がおられましたら、大変お手数ですがお席を移動していただけますようお願い申し上げます。

(6) 研修会DVDの配布

作成したDVDは、本学教員による講座全16時間を8枚のDVDにまとめ、新潟県内の各市町村教育委員会、全国都道府県教育委員会、政令指定都市教育委員会に郵送にて配布した。

以下にDVDのジャケットを示す。



(7) 研修会ビデオの大学ホームページへの掲載

各研修会における講座の冒頭5分程度を YouTube を利用して、インターネット上で閲覧できるようにし、本学ホームページの教職大学院サイトや講座を担当した教員の紹介サイトからリンク可能とした。

ホームページ上に紹介する動画の作成にあたっては、各教員がDVDに納められた各自の講座の中からインターネットにアップロードする部分を指定し、DVDを作成した業者へファイル変換を委託した。

以下に、ホームページ紹介の例を示す。



本学教職大学院スタッフ紹介のページ

「講座風景はこちら」をクリックすると講座を記録した動画サイトへリンクする。



← 動画掲載サイトのスタート画面



← 研修会動画の様子
各講座約5分程度

3. 成果と課題

新潟県内の3か所（新潟県立生涯学習推進センター・長岡市立中央図書館・上越教育大学）において、各4回、計12回の教育研修講座を実施した。各講座では、新潟県の実態に基づくテーマを設定し、新潟県立教育センター指導主事等が実践のポイント、教職大学院教員が理論的背景、教職大学院院生チームが実践成果をそれぞれ担当した。

また、教職大学院教員が担当した講座の様子を撮影したDVDを作成し、各都道府県教育委員会等の関係機関に配布並びにホームページからも閲覧可能とした。

なお、教育研修講座の参加人数は、255名（新潟講座114名、中越講座74名、上越講座67名）である。

新潟県教育委員会の実態に基づくテーマを設定し、指導主事等、教職大学院教員、教職大学院院生がそれぞれの立場で研修講座を実施したことは、参加者から大変好評であった。また、教職大学院教員にとっても、地域の学校現場の抱える課題をダイレクトに把握し、それぞれの理論を紹介する機会を得たことは、理論と実践の融合を目指す教職大学院の今後の教育研修への取組やカリキュラム改善に有効であった。

このように連携して行う研修会を、さらに効果あるものにしていくために、今後は研修会の周知方法や研修会当日の集合時刻、会場準備、講座内容のすり合わせ等、研修会を担当するスタッフのさらなる綿密な打ち合わせが必要であることも課題である。

4. 次年度以降の連携・協働

今年度実施した研修会における連携に加え、上越教育大学における講義等の講師として、教育委員会の指導主事等を招聘することや、教育委員会主催の研修会の講師を、大学教員が担当すること等の連携を深めていく。

これらの取り組みを通して、学校現場で働く教員にとってさらに役立つ研修システムを構築するとともに、教員を目指す学生にとって、有意義な教員養成カリキュラムを開発していく。

5. その他

「キーワード」

授業 実験 教科指導 コミュニケーション ことば 特別支援教育 I T DVD

「人数規模」

D. 51名以上

「研修日数（回数）」

D. 11日以上

【問い合わせ先】

国立大学法人 上越教育大学

大学院教育実践高度化専攻 専攻長 廣瀬 裕一

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

TEL 025-521-3527 E-mail hirose@juen.ac.jp

新潟県教育委員会

新潟県立教育センター

〒950-2144 新潟県新潟市西区曾和100番地1

TEL 025-263-9033